


柱	施策事業	番号	重点事業	事業名	平成28年度の取組内容 (H29.3.31見込み)
安全	安全な 走行空間の確保	1-ア	☆	自転車走行空間 のさらなる延伸	<p>自転車が安全に走行できるよう、自転車専用通行帯や矢羽根型路面表示などの整備手法を活用し安全性の高い自転車走行環境を創出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車走行空間 奥州街道など16路線 18.8km整備 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>< 自転車専用通行帯 > < 矢羽根型路面表示 ></p>
		1-イ		自転車走行における走行支障物件の撤去指導	<p>自転車が安全に走行できるよう、路肩などに置かれている走行支障物件の不法占用防止に向けて、撤去指導や周知啓発を行い、自転車走行空間の安全性の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報うつのみや8月号や市ホームページにおいて不法占用防止に向けた周知 ・ 自転車走行空間の整備工事に合わせて、沿道住民等に周知チラシの配付
	安全啓発活動の 実施	2-ウ	☆	交通安全教室の 充実	<p>子どもから高齢者まで、各世代に応じ、基本的な交通ルールや自転車の正しい乗り方などを指導する交通安全教室を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども自転車免許事業(小学4年生) 70校 4,938人 ・ 子ども自転車免許事業振返り学習(小学5・6年生) 70校 ・ スケアード・ストレイト方式(中・高校生) 14校 7,648人 ・ 自転車シミュレータ自転車教室(高齢者) 13回 443人 ・ 高齢者自転車免許事業(高齢者) 10回 275人 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>< スケアード・ストレイト方式 ></p>
		2-エ		自転車安全利用のための広報啓発活動の充実	<p>地域や高校生、警察等と連携しながら、自転車利用者に直接安全利用を呼びかける街頭指導を行い、さらなるルール・マナーの向上を図る。また、安心して自転車が利用できるよう、自転車保険の加入を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 街頭指導 10箇所 28回実施 ・ 市内全ての中・高生に対して、自転車保険の加入促進に向けたリーフレットの配布 ・ 広報うつのみや4月号や市ホームページにおいて、保険加入促進に向けた周知




柱	施策事業	番号	重点事業	事業名	平成28年度の取組内容 (H29.3.31見込み)
	安全を守る 環境づくりの推進	3-オ		ヘルメットの 着用・普及の促進	<p>自転車用ヘルメットの着用・普及促進に向けて、その着用の重要性について広く周知啓発を行うとともに、「自転車安全利用応援店」認定事業の実施やヘルメットの普及に向けた仕組などを検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報うつのみや4, 12月や市ホームページにおいて、ヘルメットの着用促進に向けた周知 ・ 各種交通安全教室において、ヘルメット着用の重要性を伝える実験等の実施 小学校65校 ・ 自転車ヘルメット利用推進員 80人任命 累計330人 ・ 自転車安全利用応援店 4箇所 ・ ヘルメットの普及促進に向けて、自転車販売店等と連携した取組の検討
	回遊性の向上	1-ア		レンタサイクルの 利用促進	<p>レンタサイクルの貸出場所の拡充に取り組むとともに、利用実態を踏まえ、利用料金の見直しなどを検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ レンタサイクル利用者 45,136人(年間) ・ JR岡本駅西口供用開始(H28.7) ・ 利用促進にあたり、中心市街地のイベント開催時に使用料の減免(100円引き)
快適	中心市街地の 利用環境の向上	2-イ	☆	中心市街地における良好な通行空間の確保と駐輪環境の充実	<p>駐輪場の利用促進に向けた周知啓発を引き続き行うとともに、放置自転車対策の強化に取り組み、良好な通行空間を確保する。また、市民ニーズに即した歩道上の空きスペースなどを活用した駐輪場の確保や、地元商店街などと連携を図りながら駐輪場の設置について検討するなど、駐輪環境の充実に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JR宇都宮駅周辺駐輪場の定期利用者の待機者を解消するため、駐輪場の一時・定期利用スペースの見直しの実施 ・ 中心市街地、JR宇都宮駅周辺において放置自転車の即時撤去の実施 9日間/年 ・ 短時間駐輪スポットの整備に向けて、オリオン通り周辺の駐輪環境のあり方について検討 ・ 民間施設等に対する駐輪場附置義務の拡大に向けて、先進地事例の情報収集
	サイクリストへのサポート	3-ウ		自転車の駅の 充実	<p>自転車利用者の休憩スポットである自転車の駅について、コンビニエンスストアへの設置に加え、新たに飲食店などへの設置を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車の駅5箇所増設 合計48箇所 (コンビニ2箇所 カフェ2箇所 観光施設1箇所)  <p><自転車の駅></p>

柱	施策事業	番号	重点事業	事業名	平成28年度の取組内容 (H29.3.31見込み)
	サポート制度の創出	4-エ		自転車利用に係る民間企業などに対する支援	<p>民間の活力を取り入れた自転車のまちづくりを推進するため、バス事業者等へのバス停付近への駐輪場整備の支援に取り組むとともに、民間と連携した駐輪環境の創出など、新たな仕組みを検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 駐輪場設置への補助制度の活用促進に向けた周知 新たなサポート制度の創出に向けて、他都市の取組事例などの情報収集
	プロスポーツとの連携・宮サイクルステーションの拡充	1-ア	☆	ジャパンカップサイクルロードレースの開催及び周辺環境の向上	<p>ジャパンカップサイクルロードレースの受け入れ態勢などをさらに拡充させるとともに、世界規模の大会の誘致に取り組むなど「自転車のまち宇都宮」のブランド力の一層の向上を図る。また、ジャパンカップコースへの案内など、サイクリストへのサービスの充実に取り組み、広域からの恒常的な誘客を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ジャパンカップサイクルロードレース・クリテリウムの開催 (H28.10. 22～23) 観戦者数 135,000人 JR宇都宮駅ペデストリアンデッキから森林公園入口まで案内・誘導する看板10基とサイン5基の整備 コース上にルートを示す路面表示の整備 森林公園会場内において、ジャパンカップの案内看板の新設及び世界選手権自転車競技大会(H2年)を記念するモニュメントの再整備 ジャパンカップコース周辺における拠点整備に向け、森林公園周辺の現状の整理や今後の方向性について検討 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;"> ＜サイクルロードレース＞ ＜クリテリウム＞ </p>
楽しく		1-イ		プロ選手と連携した自転車教室やサイクルイベントの実施	<p>プロサイクルロードレースチームの宇都宮ブリッツェンと連携し、自転車利用の楽しさを学びながら、交通ルールやマナーの向上、健康増進や介護予防などを目的とした様々な自転車教室を実施する。また、競輪選手と連携し、競輪場の認知度の向上を目的とした自転車の楽しさを伝えるサイクルイベントを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車安全利用教室(中学・高校) 7校 3,722人 いきいき自転車健康教室 3回 46人 体力向上サポーター派遣事業 4校 競輪フェスティバル2017の開催 (H29.3.20) <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;"> ＜自転車安全利用教室＞ ＜いきいき自転車健康教室＞ </p>

柱	施策事業	番号	重点事業	事業名	平成28年度の取組内容 (H29.3.31見込み)
	自転車のまち 宇都宮の さらなるPR	1-ウ	☆	宮サイクルステーションの充実	<p>自転車の利用促進の拠点施設として、スポーツバイクのレンタルやスポーツバイクセミナーなどを実施するとともに、さらに利用者ニーズを踏まえたサービスの充実などに取り組み、自転車のまちのシンボルとして広く市内外にPRする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 来館者 5,700人 レンタサイクル利用者 890人
		2-エ	☆	自転車のまちのPR	<p>市民一人ひとりが自転車のまちづくりに対する愛着や誇りを持ち自転車を利用できるよう「自転車の日」などを設定し、市民意識の醸成を図るとともに、自転車のまちのブランド力を高めるため、「自転車のまち宇都宮」のシティプロモーションとして市内外に広くPRする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車のまちのPRに向け、全国規模のシンポジウムなどにおいて本市の事例発表 3回 「自転車の日」など市民意識の醸成策を検討するため、他都市の実施内容等の状況調査
		2-オ		サイクルイベントの開催及び開催支援	<p>シクロクロスの開催やサイクルピクニック、ブルベなどに対する支援等に取り組むとともに、その他自転車競技(ツール・ド・とちぎ、国民体育大会など)の実施にあたり、関係機関と連携を強化し、「自転車のまち宇都宮」を広く市内外にPRすることで自転車を活用した交流人口の拡大や誘客を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全日本シクロクロス選手権の開催(H28.12.11) 宇都宮シクロクロスシリーズの開催(H28.12.10, H29.2.4~5) ツール・ド・とちぎ2017(H29.4.2)の開催に向けて関係者との協議調整 H28年4月に実施した北関東400kmブルベとサイクルピクニックにおいて、広報活動やノベルティの提供等の支援
健康とエコ	環境負荷の低減	1-ア	☆	自転車通勤の促進	<p>自転車通勤の促進に向けて、民間企業に対するモビリティ・マネジメントを実施し、自転車利用による環境や健康に対する効果などについて情報提供を行うとともに、自転車通勤の効果を体感できるモニター事業に取り組み、環境負荷の低減や健康増進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> モビリティ・マネジメントの一環として、清原・平出・芳賀工業団地の企業へ通勤等に関するヒアリングの実施 自転車通勤の促進策の検討にあたり、企業と意見交換の実施
	健康増進のPR	2-イ		健康増進への情報発信	<p>自転車利用による健康増進への効果を市民に広くPRし、健康増進の意識の向上を図ることで自転車利用を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の健康づくり活動を促進するため、「(仮称)健康ポイント事業」の事業スキームの検討 自転車通勤の促進策と組合わせた情報発信の検討



<シクロクロス>

柱	施策事業	番号	重点事業	事業名	平成28年度の取組内容 (H29.3.31見込み)	
つながる	公共交通との連携強化	1-ア	☆	交通結節点における自転車利用の促進	<p>ネットワーク型コンパクトシティの形成やLRTの導入をはじめとした公共交通ネットワークの構築を見据え主要なLRT停留場付近に駐輪場を新設するとともに、バス停付近への駐輪場整備に取り組むなど、公共交通と自転車のつながりを強化することで、自転車利用を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ LRTの全停留場に駐輪場を整備することとし、利用しやすい駐輪環境等について検討 ・ 路面電車への自転車積載や輪行バッグへの収納などについて、各軌道事業者への調査実施 ・ 民間施設の駐輪場を活用したサイクル・アンド・バスライド駐輪場の整備 1箇所(足利銀行緑町出張所) 合計29箇所 (市8箇所・県15箇所・バス会社6箇所)  <p><サイクルアンドバスライド駐輪場></p>	
	広域的な周遊促進		1-イ		広域的なサイクリングルートの設定	<p>自転車を活用した広域的な周遊促進につながるよう、サイクリストのニーズを踏まえ、市外の観光地などへつながるサイクリングルートを設定し、広くルートをPRする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本市から周遊できる広域なサイクリングルートの設定及び広域版自転車マップの作成 (日光方面2ルート 鹿沼方面1ルート)
			2-ウ	☆	サイクリングロードの整備延伸	<p>田川・山田川などのサイクリングロードの整備と併せて、新たに広域的に連続した快適な自転車走行空間を確保し、日常利用のほかレジャーなど多様な自転車利用を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鬼怒川サイクリングロード周回コースの整備 8km/周 (H28.6) ・ 山田川サイクリングロードの整備 2km ・ ルートの案内誘導や安全性の向上を図るため、案内看板や路面表示の設置   <p><鬼怒川サイクリングロード> <山田川サイクリングロード></p>